

# 「平成21年中の交通事故死者数について」

～ 昭和27年以来57年振りに4千人台となる ～

○ 平成21年中の交通事故死者数（24時間以内）

4,914人（前年比-241人、-4.7%）

○ 死者の最多・最少日

・ 最多日：12月28日（月） 29人

・ 最少日：1月18日（日） 4人

○ 一日平均死者数

13.46人（平成20年中：14.08人）

<1時間47分に1人>（平成20年中：1時間42分に1人）

## 【添付資料】

1	交通事故発生状況の推移	1
2	月別交通事故死者数の推移	2
3	都道府県別交通事故死者数	3
4	死者3人以上の交通事故の発生状況	4
5	国家公安委員会委員長のコメント	5
6	警察庁長官のコメント	6

# 1 交通事故発生状況の推移

○ 交通事故発生状況の推移（昭和23年～平成21年）

年	発生件数		負傷者数		死者数	
	(件)	指数	(人)	指数	(人)	指数
昭和 23 年	21,341	...	17,609	...	3,848	23
24	25,113	...	20,242	...	3,790	23
25	33,212	...	25,450	...	4,202	25
26	41,423	...	31,274	...	4,429	26
27	58,487	...	43,321	...	4,696	28
28	80,019	...	59,280	...	5,544	33
29	93,869	...	72,390	...	6,374	38
30	93,981	...	76,501	...	6,379	38
31	122,691	...	102,072	...	6,751	40
32	146,833	...	124,530	...	7,575	45
33	168,799	...	145,432	...	8,248	49
34	201,292	...	175,951	...	10,079	60
35	449,917	...	289,156	29	12,055	72
36	493,693	...	308,697	31	12,865	77
37	479,825	...	313,813	32	11,445	68
38	531,966	...	359,089	37	12,301	73
39	557,183	...	401,117	41	13,318	79
40	567,286	...	425,666	43	12,484	74
41	425,944	59	517,775	53	13,904	83
42	521,481	73	655,377	67	13,618	81
43	635,056	88	828,071	84	14,256	85
44	720,880	100	967,000	99	16,257	97
45	718,080	100	981,096	100	16,765	100
46	700,290	98	949,689	97	16,278	97
47	659,283	92	889,198	91	15,918	95
48	586,713	82	789,948	81	14,574	87
49	490,452	68	651,420	66	11,432	68
50	472,938	66	622,467	63	10,792	64
51	471,041	66	613,957	63	9,734	58
52	460,649	64	593,211	60	8,945	53
53	464,037	65	594,116	61	8,783	52
54	471,573	66	596,282	61	8,466	50
55	476,677	66	598,719	61	8,760	52
56	485,578	68	607,346	62	8,719	52
57	502,261	70	626,192	64	9,073	54
58	526,362	73	654,822	67	9,520	57
59	518,642	72	644,321	66	9,262	55
60	552,788	77	681,346	69	9,261	55
61	579,190	81	712,330	73	9,317	56
62	590,723	82	722,179	74	9,347	56
63	614,481	86	752,845	77	10,344	62
平成 元年	661,363	92	814,832	83	11,086	66
2	643,097	90	790,295	81	11,227	67
3	662,388	92	810,245	83	11,105	66
4	695,345	97	844,003	86	11,451	68
5	724,675	101	878,633	90	10,942	65
6	729,457	102	881,723	90	10,649	64
7	761,789	106	922,677	94	10,679	64
8	771,084	107	942,203	96	9,942	59
9	780,399	109	958,925	98	9,640	58
10	803,878	112	990,675	101	9,211	55
11	850,363	118	1,050,397	107	9,006	54
12	931,934	130	1,155,697	118	9,066	54
13	947,169	132	1,180,955	120	8,747	52
14	936,721	130	1,167,855	119	8,326	50
15	947,993	132	1,181,431	120	7,702	46
16	952,191	133	1,183,120	121	7,358	44
17	933,828	130	1,156,633	118	6,871	41
18	886,864	124	1,098,199	112	6,352	38
19	832,454	116	1,034,445	105	5,744	34
20	766,147	107	945,504	96	5,155	31
21	736,160	103	908,874	93	4,914	29

注1 昭和34年までは、軽微な被害事故（8日未満の負傷、2万円以下の物的損害）は含まない。

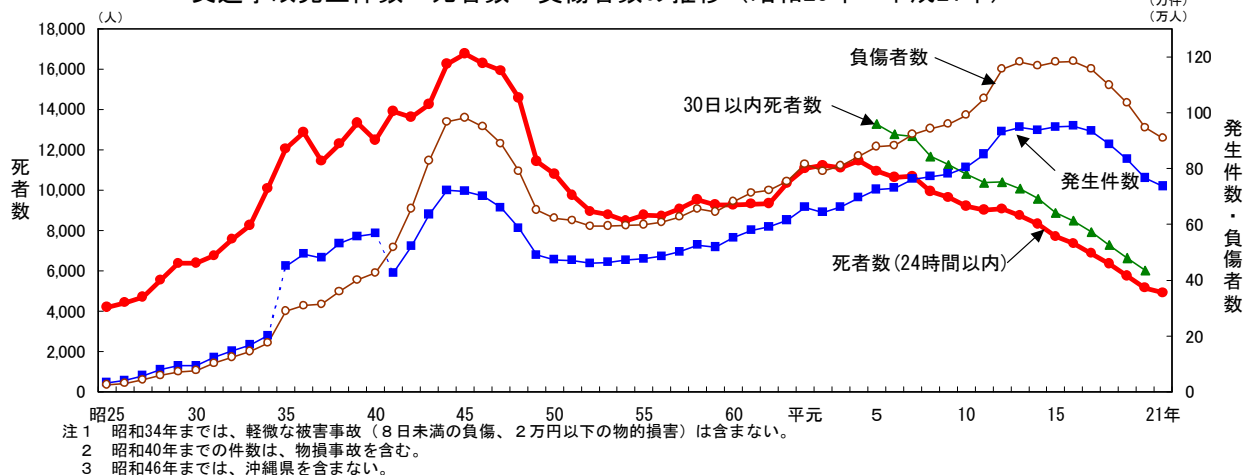
2 昭和40年までの件数は、物損事故を含む。

3 昭和46年までは、沖縄県を含まない。

4 指数は、昭和45年を100とした値である。

5 平成21年の発生件数及び負傷者数は概数である。

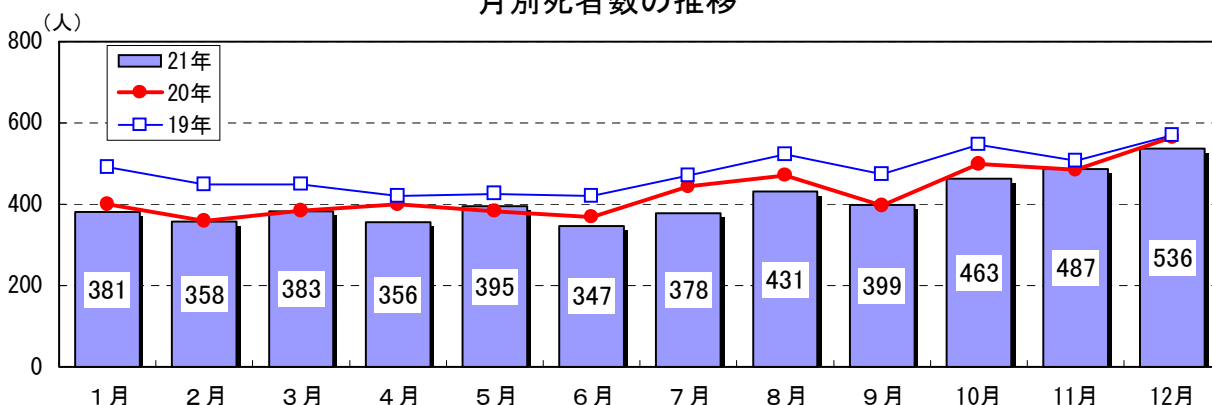
交通事故発生件数・死者数・負傷者数の推移（昭和25年～平成21年）



## 2 月別交通事故死者数の推移

死者数を月別に前年と比較すると、5月、9月、11月を除く、全ての月で減少している。

月別死者数の推移



○ 月別死者数の推移

年	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	上半期計	7月	8月	9月	10月	11月	12月	下半期計	年間合計
昭和	27年	302	300	371	403	396	373	2,145	347	434	396	490	430	454	2,551	4,696
	45年	1,237	1,140	1,379	1,271	1,419	1,289	7,735	1,480	1,545	1,467	1,476	1,515	1,547	9,030	16,765
平成	6年	853	722	859	858	814	831	4,937	926	937	873	952	979	1,045	5,712	10,649
	7年	750	766	842	874	869	819	4,920	852	912	917	1,000	1,004	1,074	5,759	10,679
	8年	792	688	785	787	787	760	4,599	829	859	814	942	900	999	5,343	9,942
	9年	813	722	801	740	796	743	4,615	786	804	760	845	851	979	5,025	9,640
	10年	704	621	783	679	764	676	4,227	734	772	749	838	931	960	4,984	9,211
	11年	715	639	699	679	742	717	4,191	758	770	695	805	853	934	4,815	9,006
	12年	728	666	780	694	695	697	4,260	747	806	685	835	866	867	4,806	9,066
	13年	619	637	763	665	662	659	4,005	743	745	726	823	833	872	4,742	8,747
	14年	643	626	729	684	638	617	3,937	650	692	667	759	793	828	4,389	8,326
	15年	591	553	615	571	603	565	3,498	579	707	643	733	743	799	4,204	7,702
	16年	556	509	617	604	582	559	3,427	631	622	580	645	689	764	3,931	7,358
	17年	558	469	572	524	495	506	3,124	581	610	629	605	651	671	3,747	6,871
	18年	529	424	548	484	471	466	2,922	524	563	504	547	644	648	3,430	6,352
	19年	491	448	449	420	426	420	2,654	470	523	473	547	507	570	3,090	5,744
	20年	400	359	384	400	383	369	2,295	444	471	397	498	485	565	2,860	5,155
	21年	381	358	383	356	395	347	2,220	378	431	399	463	487	536	2,694	4,914
	増減数	-19	-1	-1	-44	12	-22	-75	-66	-40	2	-35	2	-29	-166	-241
	増減率	-4.8	-0.3	-0.3	-11.0	3.1	-6.0	-3.3	-14.9	-8.5	0.5	-7.0	0.4	-5.1	-5.8	-4.7
	1日当たり死者数	12.3	12.8	12.4	11.9	12.7	11.6	12.3	12.2	13.9	13.3	14.9	16.2	17.3	14.6	13.5

注1 増減数（率）は、前年と比較した値である。

注2 昭和27年は平成21年よりも死者数が少ない直近の年、45年は死者数が最も多い年である。

### 3 都道府県別交通事故死者数

#### (1) 多い都道府県

順位	都道府県	死者数
1	愛知	227人
2	北海道	218人
3	埼玉	207人
4	東京	205人
4	大阪	205人

#### (2) 少ない都道府県

順位	都道府県	死者数
1	島根	33人
2	鳥取	37人
2	佐賀	37人
4	山梨	38人
5	高知	45人

#### (3) 増加した都道府県

順位	都道府県	死者数
1	長崎	+27人
2	宮崎	+25人
3	山口	+17人
4	広島	+14人
5	鹿児島	+13人

全17府県

#### (4) 減少した都道府県

順位	都道府県	死者数
1	愛知	-49人
2	静岡	-31人
2	佐賀	-31人
4	埼玉	-25人
4	大分	-25人

全30都道府県

都道府県名	1月1日~12月31日							
	平21年		平20年		増減率		順位	
	順位	増減数	順位	増減率				
北海道	札幌	110	...	117	-7	...	-6.0%	...
	函館	22	...	18	4	...	22.2%	...
	旭川	34	...	38	-4	...	-10.5%	...
	釧路	37	...	42	-5	...	-11.9%	...
	北見	15	...	13	2	...	15.4%	...
	計	218	2	228	-10	28	-4.4%	24
東	青森	50	39	62	-12	32	-19.4%	42
	岩手	81	26	69	12	6	17.4%	5
	宮城	92	24	95	-3	23	-3.2%	22
北	秋田	64	32	61	3	14	4.9%	13
	山形	50	39	48	2	15	4.2%	14
	福島	101	20	113	-12	32	-10.6%	34
	計	438	...	448	-10	...	-2.2%	...
東	東京	205	4	218	-13	37	-6.0%	27
関	茨城	199	6	210	-11	30	-5.2%	25
	栃木	121	14	129	-8	26	-6.2%	29
	群馬	100	23	95	5	11	5.3%	12
	埼玉	207	3	232	-25	43	-10.8%	35
	千葉	197	7	213	-16	40	-7.5%	31
東	神奈川	176	10	189	-13	37	-6.9%	30
	新潟	113	15	124	-11	30	-8.9%	32
	山梨	38	44	50	-12	32	-24.0%	45
	長野	111	17	118	-7	24	-5.9%	26
	静岡	179	9	210	-31	45	-14.8%	38
	計	1,441	...	1,570	-129	...	-8.2%	...
中	富山	59	33	58	1	17	1.7%	17
	石川	54	34	56	-2	21	-3.6%	23
	福井	54	34	55	-1	18	-1.8%	21
部	岐阜	125	13	141	-16	40	-11.3%	36
	愛知	227	1	276	-49	47	-17.8%	40
	三重	112	16	110	2	15	1.8%	16
	計	631	...	696	-65	...	-9.3%	...
近	滋賀	65	31	79	-14	39	-17.7%	39
	京都	101	20	102	-1	18	-1.0%	18
	大阪	205	4	198	7	8	3.5%	15
畿	兵庫	176	10	199	-23	42	-11.6%	37
	奈良	52	36	48	4	12	8.3%	11
	和歌山	51	38	63	-12	32	-19.0%	41
	計	650	...	689	-39	...	-5.7%	...
中	鳥取	37	45	30	7	8	23.3%	3
	島根	33	47	42	-9	27	-21.4%	44
国	岡山	107	19	114	-7	24	-6.1%	28
	広島	142	12	128	14	4	10.9%	9
	山口	108	18	91	17	3	18.7%	4
	計	427	...	405	22	...	5.4%	...
四	徳島	48	41	42	6	10	14.3%	8
	香川	70	29	61	9	7	14.8%	7
	愛媛	81	26	82	-1	18	-1.2%	20
	高知	45	43	57	-12	32	-21.1%	43
	計	244	...	242	2	...	0.8%	...
九	福岡	195	8	197	-2	21	-1.0%	19
	佐賀	37	45	68	-31	45	-45.6%	47
	長崎	67	30	40	27	1	67.5%	1
	熊本	88	25	98	-10	28	-10.2%	33
	大分	52	36	77	-25	43	-32.5%	46
州	宮崎	73	28	48	25	2	52.1%	2
	鹿児島	101	20	88	13	5	14.8%	6
	沖縄	47	42	43	4	12	9.3%	10
	計	660	...	659	1	...	0.2%	...
合	計	4,914	...	5,155	-241	...	-4.7%	...

## 4 死者3人以上の交通事故の発生状況

警察庁交通局交通指導課

NO	発生日時	発生場所	死傷者	関係車両等	交通事故の概要
1	1月2日 18時45分ごろ	国道 (栃木)	死亡3	普通乗用1	宇都宮市内の国道において、普通乗用車が同国道本線から流出する付加車線を走行し前車を追い越した後本線に戻る際、分離部分に設置されたコンクリート壁に衝突したもので、運転手を含む3人全員が死亡したものの。
2	2月20日 6時10分ごろ	県道 (福岡)	死亡3	普通乗用1	久留米市内の県道において、普通乗用車が右カーブを通過した後、進路左側の歩道縁石や花壇に接触しながら電柱に衝突し、炎上したもので、運転手を含む3人全員が死亡したものの。
3	5月3日 3時05分ごろ	市道 (茨城)	死亡3	普通乗用1	ひたちなか市内の市道において、普通乗用車が進路左側の建物外壁や樹木に衝突したもので、運転手を含む3人全員が死亡したものの。
4	5月5日 14時00分ごろ	国道 (宮城)	死亡3 重傷1 軽傷3	普通乗用1 軽四乗用1	仙台市内の国道において、普通乗用車が右カーブで対向車線に進出し、対向してきた軽四乗用車と正面衝突したもので、軽四乗用車に乗車していた3人全員が死亡、普通乗用車に乗車していた4人が重軽傷を負ったものの。
5	5月9日 6時30分ごろ	市道 (広島)	死亡3	軽四乗用1	東広島市内の市道において、軽四乗用車が右カーブで進路左側のガードレールに衝突したもので、運転手を含む3人全員が死亡したものの。
6	5月31日 8時15分ごろ	県道 (宮城)	死亡3 軽傷1	普通乗用1 軽四貨物1	石巻市内の県道において、普通乗用車が進路左側の縁石に衝突後に対向車線に進出し、対向してきた軽四貨物車と衝突後に、さらに右路外に逸脱してフェンスやガードレールに衝突したもので、普通乗用車に乗車していた3人全員が死亡、軽四貨物車の運転手が軽傷を負ったものの。
7	6月1日 21時33分ごろ	市道 (神奈川)	死亡3 軽傷1	普通乗用2	横浜市内の市道において、直進と右折の普通乗用車が信号交差点で衝突、その弾みで直進車が歩道で信号待ちの歩行者3人に衝突したもので、歩行者3人が死亡、右折車の運転手が軽傷を負ったものの。
8	6月23日 9時57分ごろ	高速 (福島)	死亡4 重傷1 軽傷1	中型貨物1	いわき市内の常磐自動車道において、追い越し車線を走行していた中型貨物車が進路左側の舗装工事規制区間へ進入、同所で作業中の作業員6人に衝突したもので、4人が死亡、2人が重軽傷を負ったものの。
9	7月10日 13時30分ごろ	主地道 (愛知)	死亡4 重傷1	普通乗用1	名古屋市内の主要地方道において、普通乗用車が高架橋登り口の進路左側に設置された分岐塀に衝突したもので、運転手を含む4人が死亡、1人が重傷を負ったものの。
10	7月13日 21時04分ごろ	国道 (北海道)	死亡3 重傷1	普通乗用3	夕張郡内の国道において、普通乗用車が走行中の前車に追突し、押し出された同車が対向車と正面衝突したもので、対向車に乗車の2人と追突された車両の同乗者が死亡、追突された車両の運転手が重傷を負ったものの。
11	8月1日 12時30分ごろ	村道 (北海道)	死亡3 重傷1 軽傷1	普通乗用2	河西郡内の村道において、レンタカーと普通乗用車が信号機のない交差点で出会い頭に衝突したもので、レンタカーの同乗者3人が死亡し、双方の運転手が重軽傷を負ったものの。
12	8月20日 13時15分ごろ	国道 (岡山)	死亡3	軽四乗用1 大型貨物1	勝田郡内の国道において、路外施設から後退し国道に進出した軽四乗用車と国道を進行中の大型貨物車が衝突したもので、軽四乗用車に乗車していた3人全員が死亡したものの。
13	9月6日 12時30分ごろ	高速 (岩手)	死亡3 重傷1 軽傷4	普通乗用1	八幡平市内の東北縦貫自動車道弘前線において、普通乗用車が中央分離帯に衝突したもので、同乗者3人が死亡、5人が重軽傷を負ったものの。
14	9月16日 11時30分ごろ	国道 (茨城)	死亡3 重傷2 軽傷5	大型貨物2 普通乗用1 軽四乗用1	かすみがうら市内の国道において、大型貨物車が信号待ちで停止していた普通乗用車に追突したもので、先頭に停止していた大型貨物車との間につぶされた普通乗用車に乗車していた3人が死亡、3人が重軽傷を負い、更に普通乗用車の前で停止していた軽四乗用に乗車していた2人と先頭の大型貨物車及び追突した大型貨物車の運転手が軽傷を負ったものの。
15	10月3日 10時50分ごろ	市道 (栃木)	死亡4 重傷3	軽四貨物1 普通乗用1	真岡市内の市道において、軽四貨物車と普通乗用車が信号機のない交差点で出会い頭に衝突したもので、双方の運転手及び普通乗用車の同乗者2人が死亡、普通乗用車の同乗者3人が重傷を負ったものの。
16	11月5日 1時28分ごろ	主地道 (香川)	死亡4	普通乗用1	高松市内の主要地方道において、普通乗用車が進路右側の店舗に衝突したもので、同車に乗車していた4人全員が死亡したものの。
17	11月19日 16時25分ごろ	県道 (和歌山)	死亡3 軽傷1	軽四乗用1	伊都郡内の県道において、軽四乗用車が右カーブで進路左側のガードレールに衝突したもので、同乗者3人が死亡、運転手が軽傷を負ったものの。
18	12月27日 14時25分ごろ	高速 (長野)	死亡3 重傷1 軽傷1	普通乗用1	茅野市内の中央自動車道において、普通乗用車が左側壁に衝突し横転したもので、同乗者3人が死亡、1人が重傷、運転手が軽傷を負ったものの。

## 5 国家公安委員会委員長のコメント

昨年交通事故による死者数は、4,914人で、9年連続の減少となるとともに、過去最悪であった昭和45年（16,765人）の3分の1以下となった前年を更に下回り、昭和27年以来57年振りに4千人台にまで減少しました。

これは、これまで、国民の皆様やマスコミをはじめ関係方面の御協力により、交通安全の確保に取り組んできた成果であります。

しかし、65歳以上の高齢者が交通事故死者全体の約半数を占めるほか、飲酒運転による悲惨な死亡事故も293件発生しているなど、交通死亡事故情勢が厳しいことには変わりはありません。

交通事故のない安全で快適な交通社会を実現することは、国民すべての願いであり、政府の重要な課題であります。

国家公安委員会としても、引き続き、強い決意をもって「平成30年を目途に、交通事故死者数を半減させ、これを2,500人以下とし、世界一安全な道路交通の実現を目指す」という交通安全対策の目標に向けて交通事故死者の更なる減少に取り組んでまいりたいと考えており、国民の皆様方には、なお一層の交通安全の取組みや安全行動の実践をお願いします。

## 6 警察庁長官のコメント

昨年、交通事故による死者数が、4,914人で、9年連続の減少となるとともに、ピーク時（昭和45年＝16,765人）の3分の1以下となった前年（5,155人）を更に下回り、昭和27年以来57年振りに4千人台となりました。また、発生件数及び負傷者数も5年連続で減少しております。

交通事故の死者数の減少要因としては、シートベルト着用率の向上、事故直前の車両速度の低下、悪質・危険性の高い違反に起因する事故の減少等が挙げられますが、これも、全国警察が関係機関・団体等と協力し、あるいは連携しながら、悲惨な交通事故を1件でも多く減少させたいという熱意をもって諸対策に取り組んできた結果であると認識しております。

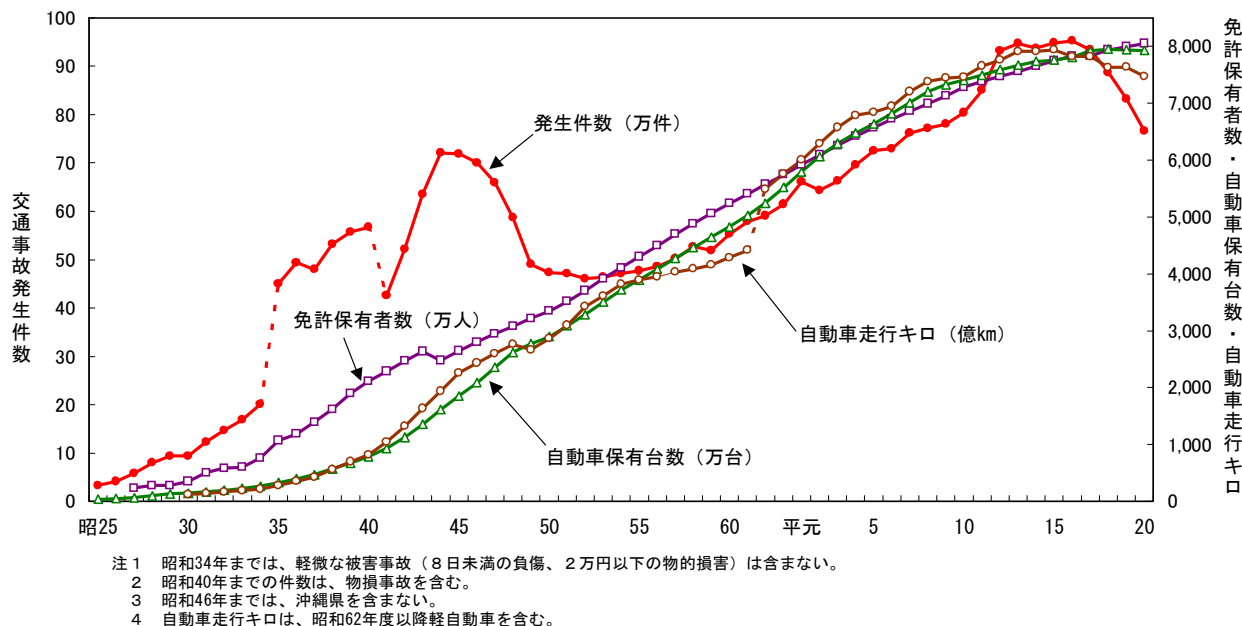
しかしながら、個々の交通事故事件に目を向けてみますと、交通事故死者数の約半数を65歳以上の高齢者が占めているほか、未だ飲酒運転等の悪質違反に起因する交通事故によって、多くの尊い命が犠牲となるなど、交通事故情勢は依然として厳しいものがあります。

本年にあっても、更なる交通事故犠牲者の減少を目指し、昨年4月に成立した道路交通法の改正内容のうち、高速自動車国道等における車間距離保持義務違反に対する取締りを強化しているほか、この4月には、高齢運転者等専用駐車区間制度にかかる規定を施行し、高齢運転者に対する安全運転支援策の一層の充実を図ることとしております。

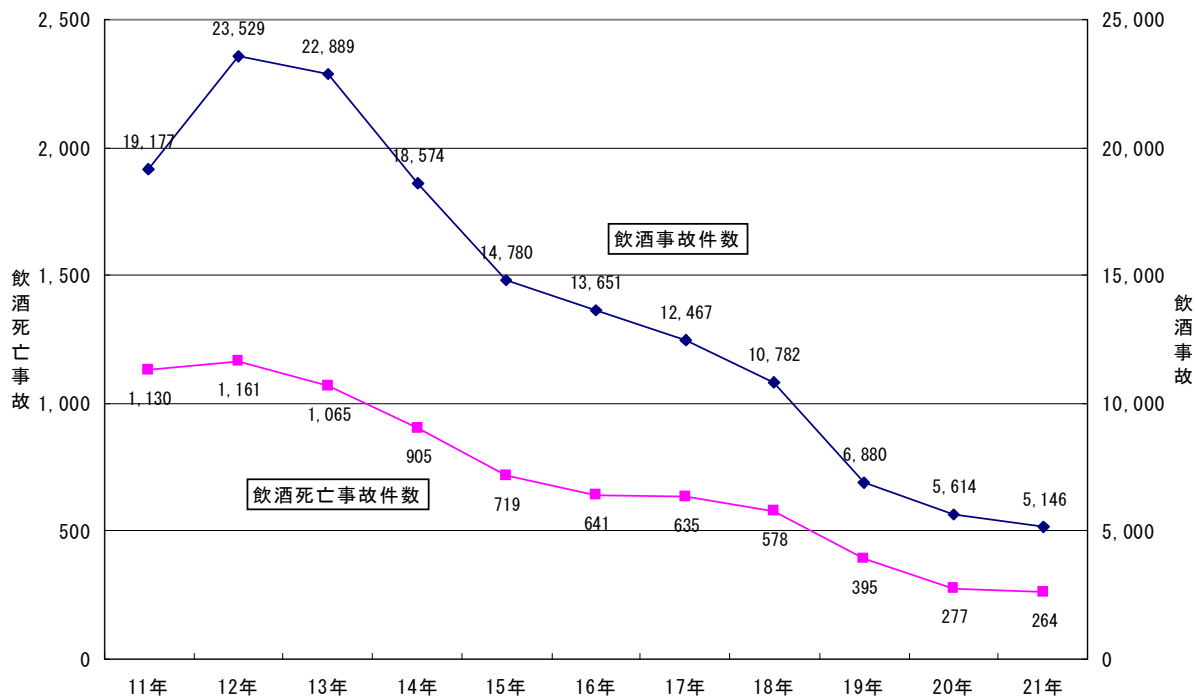
交通事故による死者数は減少傾向ではありますが、未だ年間5千人近い方々がその犠牲となっている現状を重く受け止め、こうした犠牲者を一人でも減らすため、引き続き、各界各層と連携を図りながら、総合的な交通事故防止対策をなお一層進めてまいりたいと考えています。

## 交通関係指標

交通関係指標の推移（昭和25年～平成20年）



飲酒事故発生件数の推移（各年11月末）



## 交通安全基本計画の推移

	計画期間	目 標	結 果
第一次	昭和46年度 ～50年度	<b>&lt;昭和50年の目標&gt;</b> 昭和50年における歩行中の交通事故死者数（予測値）の半減 8,000人 → 4,000人以下	昭和45年の歩行中の交通事故死者数 5,939人 昭和50年の歩行中の交通事故死者数 3,732人
第二次	昭和51年度 ～55年度	<b>&lt;昭和55年の目標&gt;</b> 過去最高時（昭和45年）の交通事故死者数の半減 16,765人 → 8,382人以下	昭和55年の交通事故死者数 8,760人
第三次	昭和56年度 ～60年度	<b>&lt;昭和60年の目標&gt;</b> 交通事故死者数 8,000人以下	昭和60年の交通事故死者数 9,261人
第四次	昭和61年度 ～平成2年度	<b>&lt;平成2年の目標&gt;</b> 交通事故死者数 8,000人以下	平成2年の交通事故死者数 11,227人
第五次	平成3年度 ～7年度	<b>&lt;平成7年の目標&gt;</b> 平成7年における交通事故死者数（予測値）の減少 13,500人程度 → 10,000人以下	平成7年の交通事故死者数 10,679人
第六次	平成8年度 ～12年度	<b>&lt;平成9年の目標&gt;</b> 交通事故死者数 10,000人以下  <b>&lt;平成12年の目標&gt;</b> 交通事故死者数 9,000人以下	平成9年の交通事故死者数 9,640人 平成12年の交通事故死者数 9,066人
第七次	平成13年度 ～17年度	<b>&lt;平成17年の目標&gt;</b> 交通安全対策基本法施行以降、最低時（昭和54年）の交通事故死者数8,466人以下	平成17年の交通事故死者数 6,871人
第八次	平成18年度 ～22年度	<b>&lt;平成22年の目標&gt;</b> 世界一安全な道路交通の実現を目指し、 交通事故死者数 5,500人以下 死傷者数 100万人以下	